

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1119	(H.24)No.	1119
-----------	------	-----------	------

事務事業名	公共交通対策事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	都市計画室	宮崎 敏	63-7749
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 15 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	1	交通対策
	小施策	3	公共交通の充実
重点施策コード	4-4.コミュニティ交通の充実		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	382001
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	公共交通対策事業
項	土木管理費	(小事業名)
目	交通対策費	公共交通対策事業

## 3. 事務事業の概要

事業概要
交通不便地域において地域コミュニティバス事業等の導入、推進を図るとともに、コミュニティバス「ナッキー号」と「あらざぎ号」の運行を行う。

めざす効果(事業目的)
交通不便地域の解消や、自家用車やバイクなどの移動手段を持たない交通移動不便者の移動手段の確保を推進し、だれもが不自由なく移動できる持続可能な交通システムの構築を目指す。

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)				
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 報償費(地域公共交通会議報償費ほか)255千円 旅費(運輸局出張等)0円 需用費(あらざぎ号等消耗品、あらざぎ号修繕・タイヤ交換等)211千円 役務費(あらざぎ号任意保険料)119千円 委託料18,832千円(あらざぎ号運行委託料2,793千円、ナッキー号運行委託料16,039千円) 原材料費(コミュニティバス停留所看板材料)0円	[事業内容(事業量)・事業費] 報償費(地域公共交通会議4回・12人報酬ほか)281千円 旅費(運輸局出張等)17千円 需用費(あらざぎ号等消耗品、あらざぎ号点検・タイヤ交換等)265千円 役務費(あらざぎ号任意保険料、郵便料)180千円 委託料20,050千円(あらざぎ号運行委託料2,775千円、ナッキー号運行委託料17,275千円) 原材料費(コミュニティバス停留所看板材料)12千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)		
直接事業費	19,417千円	20,805千円	20,353千円	20,353千円	20,353千円		
財源内訳(千円)							
国庫支出金							
県支出金	1,249	1,350	1,100	1,100	1,100		
地方債							
その他(使用料、諸収入)	4,932	5,020	5,020	5,020	5,020		
一般財源	(0) 13,236	14,435	14,233	14,233	14,233		
人工数							
職員	0.60人	0.60人	0.80人	0.80人	0.80人		
臨時職員等							
概算人件費	(0千円) 4,380千円	4,380千円	5,840千円	5,840千円	5,840千円		
+ 総事業費	(0千円) 23,797千円	25,185千円	26,193千円	26,193千円	26,193千円		

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	コミュニティバス「ナッキー号」の1日平均乗降客数	-	-	-	-	194
	実績		185	187	184	180	
成果指標	目標	公共交通など市内の交通環境に満足している市民の割合	-	-	-	-	41.0
	実績		39.4	40.3	40.9	42.2	
	目標						
	実績						

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
利用者数等、ほぼ例年なみの運行が実施された。	運賃据置による一般財源の負担増について、受益者負担の観点から、改定を含めあるべき姿を検討していく

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
市の高齢化の推移(65歳以上の総人口に占める割合)平成20年18.68%、平成30年20.15%(市推計)・団塊の世代が定年を迎え、路線バスの利用が減少している。今後、地域でのコミュニティバスの関心が高まることが予想される。・国においては、交通格差社会の進展を見据え、移動権の保障等を根幹に交通基本法の制定が進められている。	高齢化により、今後、ますます増加する交通移動不便者の移動手段確保に向けた取組が求められている。

### 8. 担当室による点検[事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	今後の国・県の動向を見守りながら、補助制度等の活用を検討。
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	あららぎ号の利用・活用の記述あり(国津)
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映を予定	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	委託先との役割分担を図りながら利用促進のための取組について検討。

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(事務改善)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項